

(様式3)

自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>「地域と共に育てていく」「なじみを大切にす る」という内容を理念の中に盛り込み、地域との かかわりを大切にしよう努めている。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の 実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>職員は理念を理解し、日々業務に取り組んでい る。また理念を書いたボードを玄関に飾り、いつ でも見れるようにし常に意識するよう心がけてい る。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続 けることを大切にしたい理念を、家族や地域 の人々に理解してもらえよう取り組んで いる</p>	<p>玄関に理念を掲示し、来訪者に見て頂けるよう にしている。また買い物や散歩などの活動を通して 地域との関わりを持ち、その報告を毎月ご家族に 送るグループホーム新聞や報告書にて行い、理解して 頂けるように努めている。</p>	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声 をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえ るような日常的なつきあいができるように 努めている</p>	<p>日頃より近所の方と挨拶を交わし、クリスマス会 やもちつき等の行事の際にはお誘いし、気軽に立 ち寄っていただけるように心掛けている。また時 として季節の野菜の差し入れがあったり、草花の 苗を頂いたり温かい支援を受けている。</p>	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員と して、自治会、老人会、行事等、地域活動 に参加し、地元の人々と交流することに努 めている</p>	<p>近所のスーパーへ買い物に行ったり、近所を散歩 することで孤立しないように努めている。また町 内会の集会場所にホームの一室を提供したり、老 人センターが催している行事に参加したりし、地 元の人々との交流を図っている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>地域の方に利用して頂けるよう通所介護を行っていたが、職員の退職があり人員確保が難しくなったため現在休止している。</p>	<p>今後は、町内会の方を対象に認知症についての理解を深めていただけるような学習会を行ってきたい。</p>
<p><b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b></p>			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>第三者評価や自己評価を行うことで自施設を客観的に見つめなおすことができ、出来ていない部分は改善に努めている。</p>	<p>評価結果については応接コーナーで誰もが自由に閲覧できるようにしている。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議ではGHの報告を行い、会議での意見は謙虚に受け止め、意見に対してどのように対応すべきか職員会議で話し合い、サービス向上に努めている。</p>	
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>尼崎市GH連絡会に市の職員の方に来て頂き、情報交換を行い、サービスの質が向上できるように取り組んでいる。</p>	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>利用者が成年後見制度を利用されていることから様々な機会において制度の仕組みの理解に努めている。今後も必要な方々に学んだことを活用し支援していきたい。</p>	<p>職員間での認識に差があるため、理解を深めるためにもさらに学ぶ機会を設けたい。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>休憩室に虐待防止関連法についての資料を置き、職員間で回覧し、理解を求めている。また日常生活で虐待が発生しないよう職員全員で注意を払っている。</p>	<p>虐待防止関連法について学習の機会を設け、スタッフ全体で理解を深めたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>なじみの人間関係を重要視しているため、職員の異動は行っていない。離職につながらないよう職員（特に非常勤職員）の要望には出来るだけ希望に沿うよう配慮している。</p>	
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>実践者研修やケアマネジャーの研修受講など職員は学ぶ機会が与えられている。</p>	<p>今年は社内研修が行えなかったため、計画を立てて行っていきたい。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>尼崎GH連絡会に属し、交流会、勉強会、交換研修などに参加し、情報交換などを行い、サービスの質の向上に活かしている。</p>	
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員の意見を汲み、少しでも働きやすい環境になるよう努めている。</p>	
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>一人ひとりの理解に努め、評価し、常にやる気を失うことがないよう努めている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>利用者の訴えに耳を傾け、何を思い、どうしたいのか理解に努めている。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>相談に来られた際によくお話を伺い、不安や困っていることなどの理解に努めている。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談に来られた際に、GH入居が適切かどうかを面談した職員間でよく検討するようにしている。必要に応じて通所介護等を紹介したりしている。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に本人に見学に来て頂いている。また入居後には利用者が落ち着くまで家族に定期的に来訪して頂いたり、職員がそばに寄り添うなどして利用者の心身の安定に努めている。</p>	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>日常生活を共に過ごす中で調理や買い物などで教えて頂く場面を作ったり、手伝ってもらったりしながら、介護する側・される側という関係のみにならないようにしている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>利用者を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族来訪時にホームでの様子を報告・相談し、利用者の状態の変化に共に喜んだり、悩んだりしながら共に支えあえる関係作りに努めている。</p>	<p>今後も努力していきたい。</p>
29	<p>利用者と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>入居以前の関係の把握に努め、より良い関係を築いていけるよう支援している。</p>	<p>今後も努力していきたい。</p>
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>気軽に立ち寄って頂けるような雰囲気作りに努めている。またなじみの場所やお墓参りなどはご家族が支援して下さっている。</p>	
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>利用者間の人間関係や相性等を踏まえて座席の位置等を考えている。また献立や散歩コースの相談、話し合う場を設け、共に生活する仲間としての連帯感を共感できるよう、またお互いにいたわり合いながら生活できるように努めている。</p>	
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>退居先へ訪問したり、またご家族がホームへ来て下さることもある。退居後もそれぞれの生活を気遣いながら付き合いを継続している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時に本人やご家族から伺った生活感を基に可能な限りの支援を心がけている。加齢や病気が原因で希望に添えないことも多いが、その際はご家族の同意を得るようにしている。</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居前の生活が入居後もなるべく継続して支援できるよう契約時に本人の生活歴や好み等をご家族から聞き、ケアに努めている。またご家族からの協力（散歩や刺し子など）も頂いている。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>職員は利用者の行動で気が付いたことがあれば専用の引継ぎファイルに記入し職員全員で共有できるように努めている。</p>	
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人やご家族の希望も聞きながら、定期的に職員会議を行い、介護計画を作成している。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>課題が見つかった際は最優先で話し合い、介護計画を作り直すようにしている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日の様子を業務日誌にまとめ、介護計画作成に活かしている。</p>	
<b>3.多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>家族会や地域の自治会、運営推進会議の場所を提供する他、ホームヘルパーの養成所を運営する事業所の関係上、実習の場として貢献し、ホームヘルパー就業の支援を行っている。また法人内に通所介護事業もあるため、必要に応じて紹介させて頂くこともある。</p>	
<b>4.より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40	<p>地域資源との協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>近隣住人の入居に繋がる場合には家族の他にも民生委員の方の情報を得たり、定期的に来て下さる介護相談員の方からアドバイスを頂いたりし、様々な方達に協力を得ている。</p>	
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>利用者が病気入院の際には家政婦協会のサービスを利用したり、福祉用具購入時の支援などご家族の要望があれば、利用できるように支援している。</p>	
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>デイサービス開業時には利用者の情報やケアマネジメントについての協働を行っていた。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいる項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者それぞれの主治医による往診や受診を行っている。緊急時等の対応や入院先の紹介等をして頂き、往診に関しては毎月基本的には1～2回と症状に合わせて行われている。</p>	
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>認知症に理解のある医師に定期的に診て頂き、症状に合わせて精密検査等の指示や総合病院などの紹介を得ている。</p>	
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>非常勤の看護師の他に訪問看護による支援も受け、定期的にバイタルチェックを行い、健康管理に努めている。</p>	
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院時には介護サマリを作成し病院に提出するとともに、入院中はこまめに足を運び、症状の経過を把握し、早期退院につながる支援を心がけている。</p>	
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>利用者の現在の状況を家族に伝え、今後のことについて主治医に説明して頂き、家族・医師・職員とで今後の方針を共有しながら症状に沿った支援を行っている。</p>	
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>ホームとしてどこまで対応でき、どこから対応できないのか職員間で常に話し合っている。また主治医との連携やご家族の理解・協力を得ながら変化に備えて準備を行っている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>ご家族と話し合いの場を設けたり、介護サマリを作成し見て頂くことで、転居先で混乱されることがないように努めている。</p>	
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人を尊重するため、敬語を使うように心がけている。また個人情報の取り扱いには十分に注意し、申し送りの際はその人と悟られないように注意している。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>献立を利用者と一緒に考えたり、お茶の時間に飲み物を選んでもらったり、買い物時に野菜を選んでもらったりと声掛け等に工夫しながら生活の中で自己決定できる場をできる限り作るように心がけている。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の気持ちを尊重し、その人のペースを大切にしながら、活動的な生活をして頂けるよう動機付けを行っている。</p>	
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>今まで行かれていた美容院に行かれる方やホームの訪問美容を利用し、ご本人が希望される髪型にされている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<p>一泊旅行等も出来たらと思っている。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援  職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族了解の下、原則事務所で預かっているが、ご本人で管理されている方もいる。		
61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物や散歩に出掛ける時間帯を設けたり、車で遠出をして四季折々の花を見に行ったりし、ホーム内のみの生活にならないように心がけている。		歩行が難しくなっている利用者も外出できるよう外出の機会をもっと増やしたい。
62	普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族とお墓参りや外泊される等の他にも家族同伴で外食を楽しまれる方も多い。		
63	電話や手紙の支援  家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者が希望される際には電話をして頂けるよう支援している。また年賀状を出される方もおられ、家族や大切な人とのやりとりが継続されるよう支援している。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	利用者にとって大切な人が来訪された際には、お茶をお出ししたり、利用者のお話を伺ったりして気軽に来て頂けるような雰囲気作りを心がけている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしていない。万が一、しなければいけない状況になった場合は、マニュアルに沿って行うことにしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>安全のため玄関のみ簡単なロックでの施錠をしているが、その他は夜間のみ施錠としている。</p>	
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>職員はプライバシーに配慮しながら常に利用者の行動や所在を把握するように努めている。</p>	
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>利用者の理解力や判断力を見極め、物品を居室に置いたりこちらで預かったりし危険がないよう配慮している。</p>	
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>利用者一人ひとりに目を配り、転倒、窒息、誤嚥等の事故が起こらないように見守りを行っている。またどの時間帯にどのような行動をとるか予測し事故が起こらないよう細心の注意を払っている。</p>	
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>急変時や事故発生時のマニュアルがあるが、訓練は出来ていないため、いざという時に不安がある。</p>	<p>防火訓練だけでなく、心肺蘇生法等も学ぶ機会を設けたい。</p>
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>日常の勤務の中で安全チェックを行い、避難経路等を意識するようにしている。また運営推進会議を通じて地域の方々にも協力をお願いし、避難訓練時には地域の方にも参加して頂いている。</p>	<p>防火訓練は12月中に予定しているが、年に2回は行いたいと考えている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>家族には現状の報告だけではなく、今後のことについては考えられる事態についてもお伝えしている。またご家族の意向も伺うようにしている。</p>	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>何かいつもと違うと感じた際はすぐにバイタルチェックを行い、場合に応じて主治医や看護師に連絡をとって指示を仰いでいる。必要時にはご家族にも報告し、協力を得ている。</p>	
74	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>適格に服薬するため新しい薬が処方された場合は薬の効能や用量について文書で引き継ぐとともに口頭でも伝えるようにしている。また間違いがないように薬のマニュアルも用意している。</p>	
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>排便状況を表に記入し、食材の工夫や散歩等の運動を通じて自然排便を促しているが、改善がなかなか見られず、便秘薬にたよるところが大きい。</p>	便秘予防を心がけたい。
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>食後に口腔ケアを行い、歯のない方にはスポンジブラシや舌ブラシを使用しケアを行っている。また週1回の歯科往診があり、一人ひとりに合った口腔ケアの方法等を教えて頂いている。</p>	
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>一人ひとりに応じて食事量を調整したり、食事量・水分量について把握するように努めている。また入居者と献立を決めるようになったので、バランスが偏らないように配慮している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等）</p>	<p>感染症対策マニュアルを作成し、手洗いうがいの徹底を行うことで感染防止に努めている。また体調を崩されている方の訪問を遠慮して頂いたり、年1回のインフルエンザの予防接種を全員が受けるようにしている。</p>	<p>今後も徹底できるように継続していく。</p>
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>調理用具等は毎晩消毒を行っている。食材は買い置きせず使い切る分だけ購入し、新鮮な材料を使用するようにし、食中毒の予防に努めている。</p>	
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>			
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>親しみやすい看板を飾り、建物周囲には花を植え、利用者、ご家族、地域の方々にも楽しんで頂けるよう心がけている。</p>	
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関やリビングには季節の花を飾ったり、音楽を流すなど心地よい雰囲気作りに努めている。また個人の作品を飾り、生活意欲の向上に努めている。</p>	
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>和室にソファを設置し、仲間同士のおしゃべりや趣味を共有する場となっている。また玄関や応接室もあるので、皆さん自由に行き来し過ごされている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>建物の外周や空間の活用</p> <p>建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

(  部分は第三者評価との共通評価項目です )

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

現在、当ホームにおいていくつかの目的を持って、献立作成や買い物の支援を利用者と共に行っている。その支援の目的は、食生活(ホームでの生活)により関心を持っていただくこと 以前に培われた手作業を発揮していただくため 共に生活する仲間意識の構築または擬似家族の構築、等であるが、色々な問題点がある中、現在職員が一丸となって取り組んでいる。来年1月に事例発表が予定されている事もあるが、以前より職員間では興味があったことでもあることから、この取り組みを通して何かがみえてくることを期待している。